

大気化学

座長 井上久幸

372. 仲野 實・竹内利雄・大石祐司・杵山靖広(名大・空電研): 雷雨時における太陽散乱光 NO₂ 吸収の変化
373. *杉村行勇・G.I. Pearman (気研): 筑波における地表大気中の CO₂ と気温の日周変化について
374. 土器屋由紀子・別所進一(気研・地球化学): 気象観測用鉄塔を用いた降下物の化学成分に関する研究
375. *太田幸雄・村尾直人(北大・工)・佐々木康之(札幌市役所)・長瀬 徹(釧路市役所): 札幌における NO₂, SO₂ 及び NH₃ ガスの濃度分布の測定
376. *村尾直人・太田幸雄・浦末章雄・辻 英明(北大・工): 海塩粒子及び酸化カルシウム粒子と硝

酸ガスとの反応

377. *廣瀬勝己・青山道夫・杉村行勇・葛城幸雄(気研): 核実験に由来する人工放射性核種降下量の経年変化について・I 下部成層圏打上げの場合
378. *廣瀬勝己・青山道夫・杉村行勇・葛城幸雄(気研): 核実験などに由来する人工放射性核種降下量の経年変化について・II 上部成層圏打上げの場合
379. 岩坂泰信(名大・水圏研): 低温下における硫酸粒子の水和過程
380. 忠鉢 繁(気研)・梶原良一(高層気象台): 昭和基地における春先のオゾン全量の減少傾向
381. 川平浩二(京大・理): 低緯度 D 領域における大規模擾乱

第23期第16回常任理事会議事録

日時 昭和61年2月24日(月) 13:30~17:00

場所 気象庁海洋気象部会議室

出席者 山元, 花房, 土屋, 松本, 杉村, 田宮, 春日, 竹内, 吉野

議事

A. 報告事項

〔教育と普及〕

2月20日(木)に委員会を開催し, 昭和61年度の夏季大学について打ち合わせ, 次のとおり決定した。

期日: 7月28日から4日間

内容: 雨に関する話

〔国際学術交流〕

2月8日(土)委員会を開き, インドの長期予報百年記念セミナーに派遣する2名へ, 20万円ずつ計40万円の補助金を支出することとなった。

B. 審議事項

1. 昭和61年度予算案について

会計担当理事から原案が示され, 審議の結果一部修正のうえ了承された。

昭和61年度の機関誌の印刷業者は印刷請負入札の結

果にもとづき, 「天気」は三報社, 「気象集誌」は学術図書に決定した。

2. 昭和61年度日本気象学会賞および藤原賞候補者の推薦について

学会賞・藤原賞候補推薦委員会担当理事から理事長あてに候補者の推薦があった。規程にもとづいて受賞者決定のための全理事の投票を行う。

3. 国際学術交流について

(1) 中国気象学会への連絡文書について

原案が示され, 審議の結果文章を一部修正のうえ送付することにした。

(2) 国際学術交流基金への募金について(天気公示文)

原案が示され, 審議の結果文章の一部を修正し全理事の賛否を問うこととなった。

4. 風工学シンポジウムの分担金について

分担金は他の共催学会と同額にすることが承認された。

5. 会員の新規加入の承認について

個人会員中村誠ほか15名の新規加入が承認された。

編集後記: 今月号から, 「日々の衛星画像」というタイトルで, ひまわり3号の日々の赤外画像を1年分連載してゆくことになりました。

これによって「天気」購読者は, 年間を通じて大気大循環がどのように生起してゆくか, 雲の移り変わりか

ら, つぶさに見ることができるようになります。貴重な資料であり, 興味は尽きません。

これは理事会の御理解と御支援によって実現可能となった企画です。気象学会の普及と発展に役立つことを願うものであります。(K. Y)